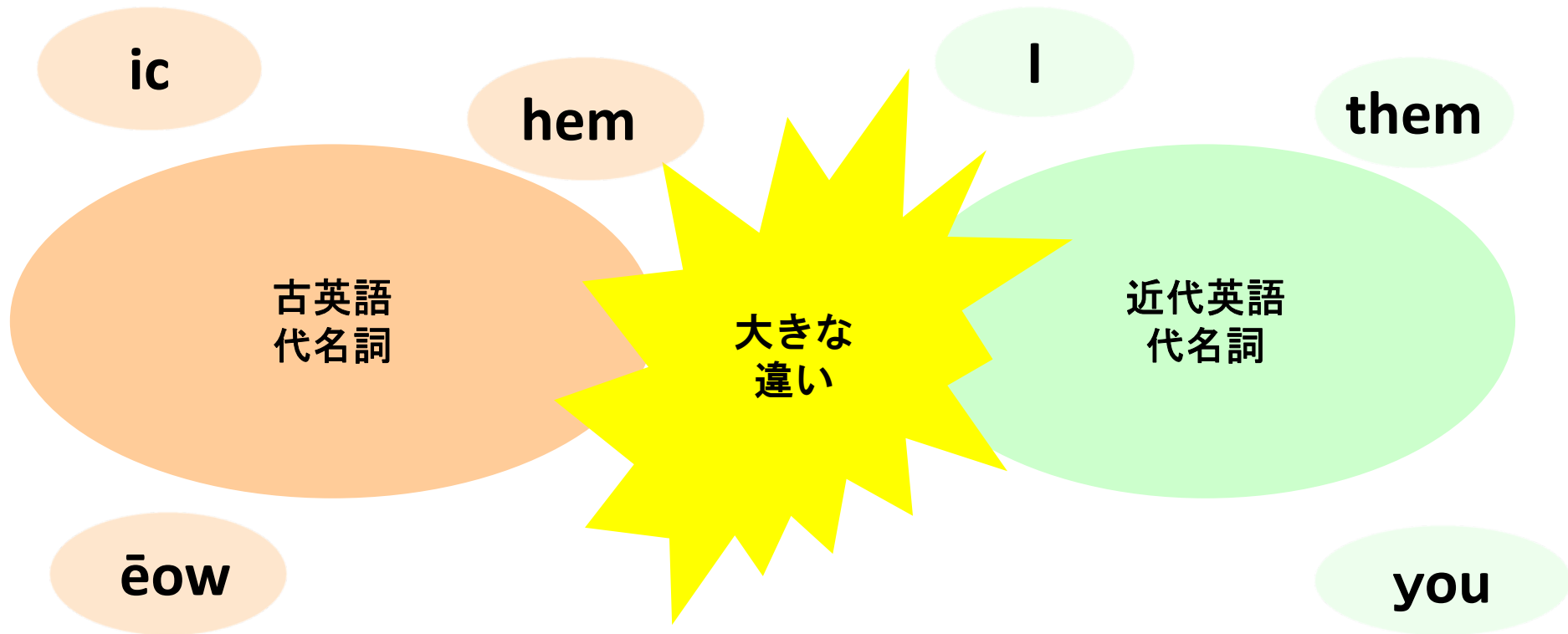


# 第7回

(3)

## 代名詞の変化

# 代名詞 今と昔では・・・



どのように変わってきたんでしょう？

# 代表的な変化(1)

古英語

近代英語

	1 人 称			2 人 称		
	単数	両数	複数	単数	両数	複数
主格	ic	wit	wē	þū	git	ge
属格	mīn	uncer	ūre	þīn	incer	ēower
与格 対格	mē	unc	ūs	þe	inc	ēow

「二人」だけを表す  
〈両数〉が英語から  
消失

経緯: bothが両数の働きする

〈中英語期〉

1人称 we(複数形) both

2人称 ye(複数形) both

が優勢に...

→「両数」を、複数形で表すことになる

# 代表的な変化(2)

古英語



近代英語

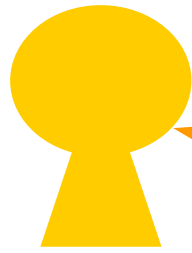
	2 人 称		
	単数	両数	複数
主格	þū	git	ge
属格	þīn	incer	ēower
与格 対格	þe	inc	ēow

2人称において  
〈単数・複数〉の区別  
消失

# どのように2人称の単複区別がなくなったのか？

経緯

<中英語期>



家臣が君主を  
Ye=You(複数)



家臣

君主は1人なのに自分を=we(複数)

拡張

目上の者には「複数」

目下、親しい者には「単数」

やがて「you」が単数形の「Thou」を駆逐

現在では複数・単数共に「you」で表す

# 代表的な変化(3)

古英語



近代英語

	3 人 称			
	単 数		複 数	
	男性	中性	女性	すべての性
主格	hē	hit	hēo	hīe
属格	his	his	hiere	hiera, heora
与格	him	him	hiere	hem, heom
対格	hine	hit	hīe	hīe

3人称において  
〈与格・対格の区別〉  
消失

互いに吸収し合い一つに

与格・・・「～に」(間接目的語)

対格・・・「～を」(直接目的語)

# 確認問題



二人称において、中英語期に単数と複数の区別がなくなった経緯を説明してみましょう

# 確認問題



中英語期、君主は自分一人を指すのに、Iの代わりにweを用いた。これに対して家臣は君主に対しye(=you)で呼びかけるのが習慣になった。この用法が拡張して、目上の人には複数、目下や親しい人には単数を使うようになったが、次第にyouが駆逐し、単数と複数両方にyouを用いるようになり単複の区別がなくなった。